

## 会社概要 (2020年9月30日現在)

商号	中央化学株式会社
設立	1961年1月30日 (創業 1957年)
資本金	72億1,275万円
決算期	3月31日
従業員数	1,676名(連結)

## 役員一覧 (2020年9月30日現在)

代表取締役社長	近藤 康正
取締役	森本 和宣
取締役	早澤 幸雄
取締役	竹内 修身
取締役	萩原 剛
取締役	松本 吉雄
常勤監査役	大吉 正人
常勤監査役	佐藤 直純
監査役	鳥居 真吾
監査役	中村 竜一



事業活動やサステナビリティ、IR情報など、詳しくはホームページをご参照ください。

## 株式情報

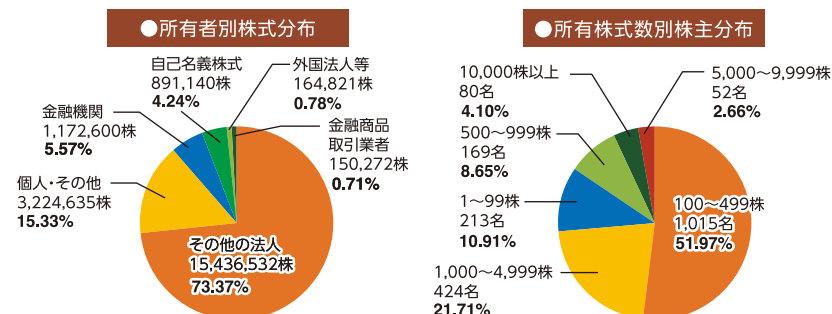
株式の概要 (2020年9月30日現在)

発行可能株式総数	普通株式	40,000,000株
	A種優先株式	2,000株
発行済株式の総数	普通株式	21,040,000株
	A種優先株式	2,000株
株主数	1,953名	

## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 TEL 0120-232-711(通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所(JASDAQスタンダード)
公告の方法	電子公告(当社ホームページ) <a href="https://www.chuo-kagaku.co.jp">https://www.chuo-kagaku.co.jp</a> (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

株主構成 ※2020年9月30日現在の普通株式の株主名簿上での名義で記載しております。



# 株主通信

## 第61期 中間決算報告

2020年4月1日▶2020年9月30日

- トップメッセージ  
株主の皆様へ
- 財務諸表
- トピックス  
新しい生活様式と当社製品  
外食ビジネスウィーク 2020出展
- 中国事業
- 会社概要・株式情報

# 中央化学株式会社



## トップメッセージ

### 株主の皆様へ

株主の皆様には、当社グループへのご理解と共に、格別のご支援を賜り、誠にありがとうございます。当社グループ第61期第2四半期(2020年4月1日から9月30日)が終了しましたので、ここに経営の概況と中間決算についてご報告申し上げます。

代表取締役社長

近藤康正

こうした環境変化の下、イベント、外食、インバウンド関連では食品包装容器の出荷が落ち込む一方、巣籠り生活による中食、内食の拡大に伴いスーパーマーケット、テイクアウト、宅配関連では増加しました。

当社は、社員の健康、安全を最優先し、感染防止策を万全にすると共に、お客様への製品安定供給を果たすべく最善を

尽くしてまいりました。中国では、感染拡大のピークは本年1月から3月でしたが、同様に感染防止の徹底と製品の安定供給を両立してきました。

この結果、売上高は前期比微減となりましたが、利益水準は前期を大きく上回る水準となりました。

### 下半期に向けて

Go To キャンペーン等により人の移動が活発になり、イベントや海外との往来等が緩和され始め、日本ではニューノーマルな状況が生まれつつある一方、ヨーロッパでは再び新規感染者数が急増する等、いまだ新型コロナウイルス収束の目途がたっていません。

当社としましては、下半期に向けて、「万全の感染防止策を前提に、環境変化に迅速に対応した最適オペレーション体制を構築し、収益基盤を強化する」ことを実行してまいります。

事業戦略として掲げてきた「汎用容器事業の基盤強化」と「成長市場へのアプローチ」は不変。汎用容器事業では競争

力強化を徹底的に追求すると共に、今後成長が期待される環境配慮型素材・製品、機能製品、新市場への取り組みに注力してまいります。

上半期は、事業環境の急変により、長年に亘ってお客様からご愛顧頂いた製品が計画以上に出荷されました。そうした製品が引き続き当社の基盤であると共に、市場環境の変化が大変なスピードで進む中、製品力、提案力が今後ますます問われることとなり、当社では食品包装容器メーカーとしての実力向上に努めてまいります。

### 最後に

社長に就任し3期目を迎えました。第59期(2018年度)では3期ぶりの黒字化を果たし、第60期(2019年度)でも、売上高は計画比未達となったものの、2期連続黒字となりました。想定外の事業環境ながら、第61期上半期も増益基調を継続しております。

生産体制を再編した中国事業の収益力も着実に強くなっています。

しかしながら、一段の事業基盤の強化、財務体質の強化は

待ったなしであり、誠に遺憾ではございますが、当中間決算における配当につきましては見送りとさせて頂き度く存じます。何卒ご理解のほど、お願い申し上げます。

今期は、「社員全員の力を結集して、飛躍に向かう」、「働きやすい会社、風通しの良い会社となる」をスローガンに掲げており、全社一丸となって仕事に邁進してまいりますので、引き続きご支援を賜りますよう、よろしく願い申し上げます。

### 上半期の振り返り

4月7日に7都道府県に緊急事態宣言が発令されたことをはじめとして、第61期は、事業環境が急変する中、スタートを迎えました。

56年ぶりに開催されるはずだった東京オリンピックは延期され、スポーツ、コンサート、お祭り等も相次いで中止、無観

客開催、或いは入場者数を制限しての開催となりました。

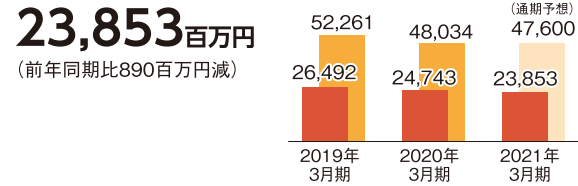
海外からの来訪者は激減、国内の人の往来も減り、飛行機は大幅な減便、新幹線乗車率も低いまま推移しました。感染拡大防止の為、多くの企業が在宅勤務を実施し、学校教育もオンラインとなりました。

◆ 財務諸表 ◆

収益の状況(連結)

■ 第2四半期 ■ 通期 ■ 通期予想 単位:百万円

売上高



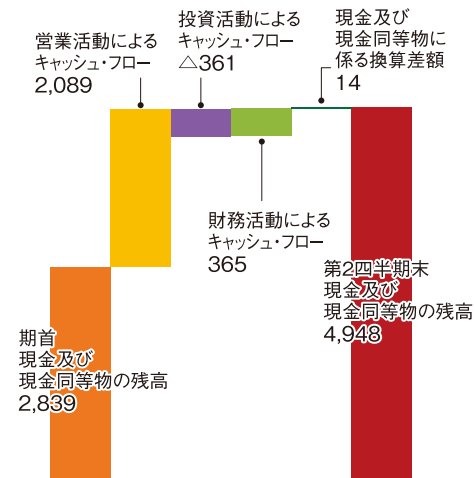
経常利益



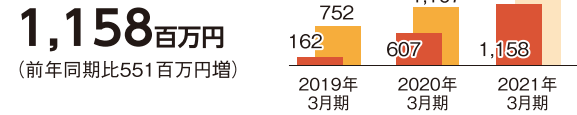
キャッシュ・フローの状況(連結)

単位:百万円

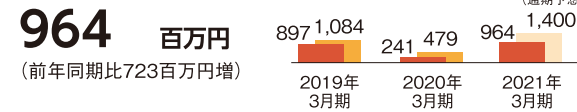
(2020年4月1日~2020年9月30日)



営業利益



親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益



資産の状況(連結)

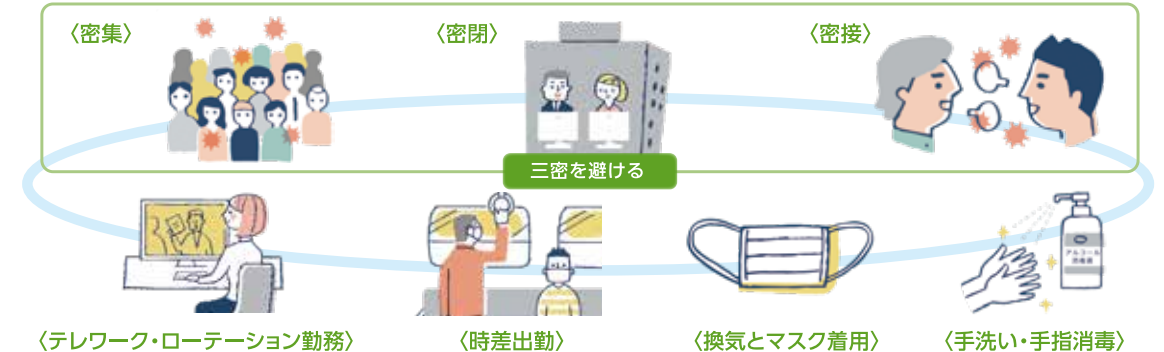
単位:百万円

(2020年9月30日現在)



◆ 新しい生活様式と当社製品 ◆

新しい生活様式



新型コロナウイルスの感染拡大により、人々の生活は「三密を避ける」「テレワーク・ローテーション勤務」「時差出勤」「換気とマスク着用」「手洗い・手指消毒」など新しい生活様式に変化しました。これにより、食生活も「テイクアウト」「デリバリー」「内食」が増加傾向にあります。

当社はこの生活の変化に対応した容器を提案します。

消費の変化



当社製品



## 外食ビジネスウィーク 2020 出展

コロナ禍でのライフスタイルの変化により  
新しいビジネスが生まれました。  
これにより、お客様に直接触れていただく  
商談展示会も新しい時代にあった方法で  
開催され、当社も出展しました。



当社は、9月24・25日に開催された「外食ビジネスウィーク 2020」に出展しました。  
当展示会は、外食産業・宿泊業界に向けた製品・サービスの販路拡大を目的としたもので、コロナ禍での出展でしたが多くのお客様にお越しいただきました。  
当社は、「見栄え重視」「実用性重視」「環境対応」の3テーマを掲げ、テイクアウト、宅配向けの製品や環境配慮型素材「TALFA」を使った製品を展示。ご来場のお客様は実際に手に取り使用感や機能性をご確認になり、ご好評をいただきました。

※出展にあたりマスク並びにフェイスシールドを着用し感染防止対策を講じました。

### ブース紹介

見栄え重視



実用性重視



環境対応



感染防止対策

フェイスシールドを  
着用して対応



## 中国事業

### 中国事業における新型コロナウイルス対応

- 感染防止対策
  - ・ 会社入場前に、全従業員への「検温・手指消毒」の実施
  - ・ マスク着用を義務化
- 行政府に、当社製品はライフラインとなる食の包装に関わる製品であること、自社での感染防止対策を説明



早期再開

感染者はゼロで、  
品質/供給に問題なし

### 2020年度上半期 振り返り

#### 販売面 ▶ コロナ禍における需要の変化と対応

- ・ 外食大幅減少・家庭での食事へライフスタイルが変化
- ・ これまで対応が十分でなかった学校給食、食堂向けの販売を開始
- ・ 日本の巣籠り需要に対応したことにより、日本向けデリバリー用弁当容器も前年同期比増収

#### 生産面 ▶ 効率生産の実現

生産量増加の一方、固定費は前年同期と同水準にとどめ、効率生産を実現

市場からの信頼増↑



中国事業の収益増↑

### 当社製品



積み重ねブロック容器

改ざん防止容器

DL(麺容器)